

令和元年度小松市立松東中学校 学校評価 2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・８月提出）	取組の成果と課題（年度末・３月提出）
生徒指導部	（いじめ・不登校・暴力行為やネットトラブル等未然防止・早期発見・対応の徹底）	・教職員にはいじめ対応アドバイザーによる事例検討を通して「いじめの積極的認知について」共通理解を図った。全校生徒には４月の全校集会において「いじめ防止基本法」について伝えた。 ・欠席が２日連続で続く生徒には家庭訪問を実施している。人間関係で欠席した生徒には、当日に家庭訪問している。	・いじめの積極的認知について、教職員間での共通理解を図るため、校内研修などを積極的におこない危機意識を高めていくように努めた。生徒に対しては、いじめアンケートや悩みアンケートを実施して、結果をもとに即座に個人面談を実施し、継続的に見守ることができた。 ・不登校並びに欠席の多い生徒に対して、担任が密に連絡を取り合い学校との関係が途切れないように努めた。副担任や養護教諭、関係機関とも連携して対応することができた。今後も継続してケアできるように情報交換や連絡を取り合っていきたい。 ・問題行動の情報交換や対応について、毎月の職員会議や職員朝礼などを利用し共有した。時系列のデータとしてサーバーに保存していつでも確認できるようにした。
	・いじめに対する積極的認知をおこなうために、職員会議で生徒指導主事が中心となって情報共有、共通理解を図る。 ・不登校傾向の生徒や欠席が２日連続で続く生徒へは担任による定期的な家庭訪問の実施。前期と後期には個人面談やいじめアンケートを実施する。		
道徳教育	心豊かな生徒の育成を目指して道徳の授業実践を重ねる。	・学校の研究主任と連携を図り、１学期には校内研修として道徳の研究授業が行われ、整理会を行った。また授業参観週間でも道徳の授業を参観する機会も設けた。 ・１１月に行われる道徳の研究授業の指導案検討を職員だけでなく、委員会の担当者も交えて行うことができた。 ・授業で使用するワークシートを各担任が作成して活用することを継続することができた。またその中での記述や授業での様子をみて、１学期末の通知表の評価を記載することができた。３学期に向けてまた継続していきたい。	・校内研修会として、公開授業を計画的に行うことができた。また、授業の内容も学年に応じたものを行うことができた。 ・２学期には、１学期の評価の内容を校内研修で共有して互いに理解を深めた。 ・今年度を通して、授業内での変容が読み取れる工夫がされたワークシートを活用することができた。
	・定期的に道徳の授業を公開したり参観し合ったりすることで授業力向上に努める。 ・日々の道徳ノートでの感想へのコメントを通してのやりとりや年２回授業の評価を通知表に載せることで生徒や保護者にも心の成長が伝わるようにする。		
キャリア教育	〈系統的・計画的なキャリア教育の推進〉	・２年生の総合学習では職場体験にむけたスキル学習やジョブカフェでの研修を行った。 ・道徳の時間にも生き方を考える授業を行った。 ・夏休みには２年生の職場体験、３年生の先輩に話を聞く会などが予定されている。	・２年生は進学を考えるために私立高校と公立高校の見学に行き体験活動などを通して高校の雰囲気を味わうことができた。 ・各学年とも総合の時間を利用して職業調べや高校調べなど将来の進路について考えることができた。 ・外部からの職業人の話を聞く会も１年生でビルドスの福田社長、２年生でJICAの宮本さんに来ていただきそれぞれ興味深い話を聞くことができた。 ・各学年とも計画に沿って学習を進めることができた。できれば社会の一員としてボランティア活動や地域の活動に積極的に取り組めるとさらに良い。
	・学級活動（進路指導）と総合的な学習の時間を中核として年間計画に沿って推進する。 ・学級活動や道徳などをうまく取り入れ「生き方」について考えられるキャリア教育を進めていく。 ・校外学習や職場体験を通じて社会性や礼儀の大切さ、仕事のやりがいなどを見つけさせる。 ・先輩や社会人の話を聞き、視野を広げられるようにする。		
保健健康教育	自ら進んで健康づくりに取り組む生徒を育てる。	・健康診断結果から精検対象者へは個別指導を実施し、早期受診に努めさせた。中でも歯科保健については、歯みがき習慣を含む生活習慣をふりかえらせ、定期的に個別指導を繰り返し、１学期末の治療完了率は64.7%。また生徒保健委員会活動で生活習慣調べに取り組み、各学年の課題を見つけ、めあてを掲げて学級で啓発した。今後は学校保健委員会において課題解決に向けての取組をすすめる。 ・１校１プランの実施に向けて継続的に授業と部活動で敏捷性を高める運動を取り入れていく	・歯科検診における精検対象者のうち87.5%が完了した。しかし、日頃のはみがき習慣は十分とは言えず、中学生として身につけさせたい歯と口のケアに重点をおいて啓発する。生徒が掲げた健康課題のうち、最も多かった「姿勢」について学校保健委員会のテーマに掲げた。保健委員会が話題を提供し、保護者の参加数も多く、体験活動にも意欲的に取り組んでいた。 ・今年度の１校１プランとして、敏捷性の向上を掲げ年間通して取り組んだ。授業導入での補強運動や部活動、学校行事と関連して向上を図ることができた。
	・授業や部活動をとおして健康に関する知識を深めるとともに、体力（全身持久力）の維持、向上を図る。１校１プランでの取り組みを全校生徒に意識させ、自主的に運動に関わることも出来るようにする。 ・自身の健康課題に気づき、改善に向けて取り組むことができるように、管理・指導を充実させる。		
家庭・地域との連携	（学校・家庭・地域との連携を強め、情報を発信していく）	6月に育友会の教養講座で木管５重奏のコンサートを行った。地域や保護者への声かけの成果もあり、当日は多くの人が集まり大盛況の内に終えることが出来た。統合に向けての総合学習の見直し、道徳の地域人材活用等は旧金野小への引っ越しを終えた２学期より進めていく。	・文化祭においては旧金野小学校での開催ということで運営面で心配されたが、多くの保護者が来校し関心の高さがうかがわれた。当日は外部講師に保護者をお願いしての陶芸、絵付け体験や遊学館高校ダンス部による参加型のパフォーマンスがあり、ホームページや学校だよりを通じて発信することができた。 ・１年生による職業人に聞くにおいてはキャリア教育と地域人材活用の両面から地元企業「ビルドス」の社長を招聘し、講演をお願いし、大変有意義な学習を行えた。 ・今後は義務教育学校開校に向け小学部との連携、松東まつりとの関連、地域人材、資源の利用について整理をしていかなければならない。 ・閉校に向け保護者や地域と連携し進めていく。
	・学校行事の地域への発信、参加の呼びかけ ・統合に向け総合的な学習、道徳の地域人材の積極的活用を進める。		

学校関係者評価	<ul style="list-style-type: none">・松東みどり学園開校に向けていろいろな魅力を発信して行かなければならない。部活動もeスポーツやロッククライミングなども考えればいいのではない・熊対策については専門家からアドバイスをもらうなど、今後金野小への移転もあるのでしっかり考えていかなければならないのではないか。・義務教育学校に向けて新しい教育課程を早く相談し進めていくことが大事である。・学校行事を見ての感想（運動会→ダンス等には恥ずかしさもあり取り組みに差があった。文化祭→ステージ発表等自主的に取り組んだ様子がうかがえてよかった。研究発表等の内容が聞き取りにくかった）・部活動については義務教育学校になった時に小学生高学年から参加できるシステムを取ればアピールにもなるのではないか。・現在の松東中の生徒への対応についてはいい評判が聞こえてくる。少人数のきめ細やかさの良さでもあり、継続してほしい。・統合に向けての情報を地域の人たちに発信する方法があればよい。・学校からの様々な要望については地域が行政に伝えることはできるので連絡してほしい。・同窓会については松東中は来年度で終わることになる。松東みどり学園の同窓会組織は１０年を単位に考えていけばよいのではないか。
---------	---